

権自衛的集团的

# 「民主見解は限定容認」

## 長島氏、海江田氏の批判に反論



同氏を海江田万里代表が批判したことに ついて「党見

民主党の長島昭久元防衛副大臣「写真」は1日、集团的自衛権の行使を容認する閣議決定を支持表明した

解の『行使一般を容認しない』というのは、裏を返せば限定容認だ」と反論し、党見解の範囲内での発言だと強調した。産経新聞のインタビューに答えた。

長島氏は、海江田氏も7月31日の両院議員懇談会で

「行使一般を容認しない」と説明したことを明らかにした。ただ、海江田氏が安倍晋三政権との対立軸を示すために閣議決定への反対を明確にしたことには「閣議決定の撤回ではなく、進め方が拙速だと手続きを批

判するのでいい。際限なく(行使の範囲が)広がらないよう国民の立場で監視していくべきだ」と述べた。また、海江田氏が生活の党や社民党を念頭に「安倍政権と対峙する野党」との統一会派を目指すなどリベラル色を強めることに対し「左旋回を危惧している」

と指摘。「人口減少や地方の疲弊など経済政策で政権と徹底的に対峙して代案を出す路線こそ国民は望んでいる。不得手な外交・安全保障であえて差別化する必要はない」と注文した。長島氏は22日に米ワシントンで開かれたシンポジウムで閣議決定について「党

派を超えて是認されるべきだ」と表明。海江田氏は27日「私が言っていることと全然違うことを言う人がいる」と長島氏を批判した。